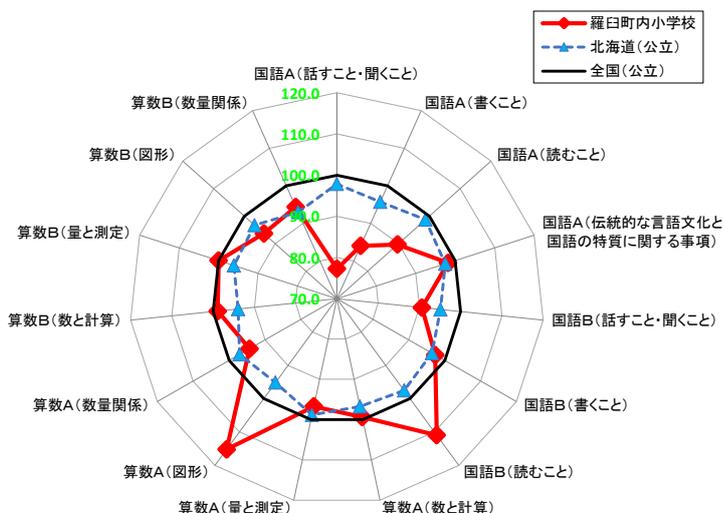


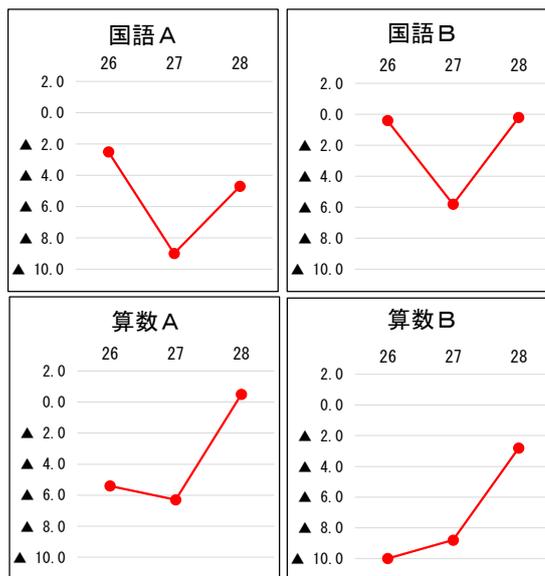
■羅臼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:49名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

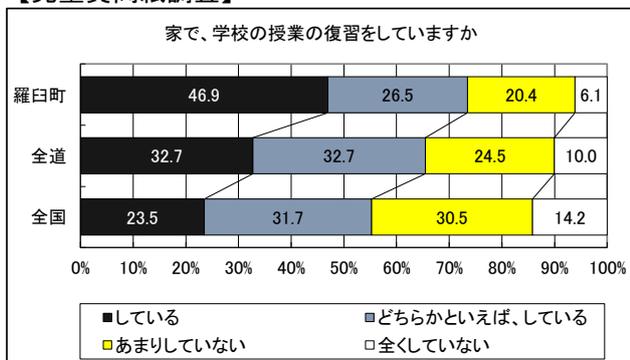


【平均正答率の全国との差の推移】

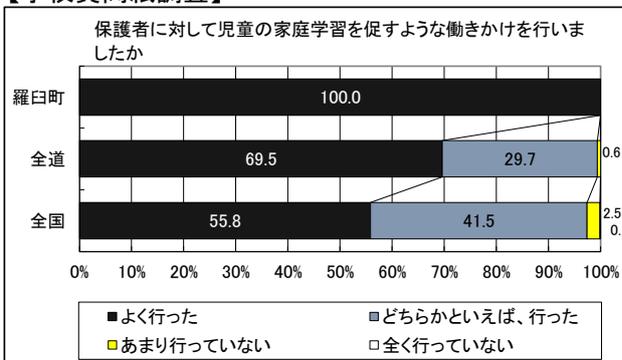


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で、全国を上回っており、Bでは、「量と測定」で、全国と同様になっている。 ○ 平均正答率の推移は、平成27年度と比べると、すべての教科で全国との差が縮まり、算数Aで全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、復習を含め、家庭学習の習慣が定着した児童が多くなるとともに、国語Bの「読むこと」、算数Aの「図形」、算数Bの「量と測定」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ すべての学校が、「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答している。	

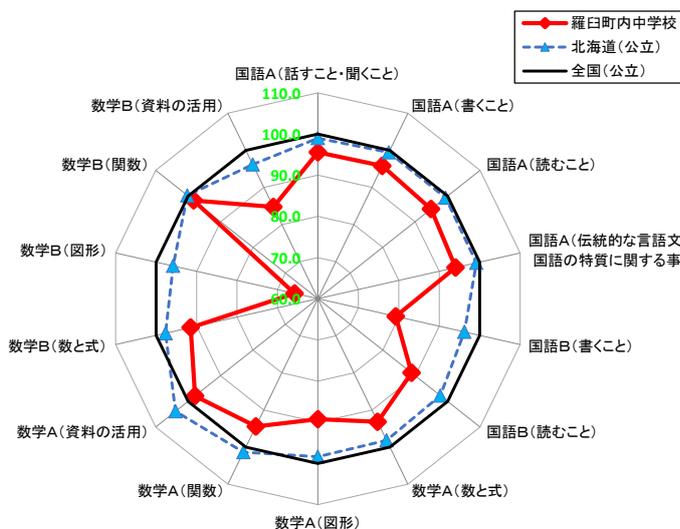
【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした幼小中高一貫教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民の協力を得た「土曜授業」の推進
- ◎ 北海道立教育研究所等と連携した教職員の資質・能力の向上を目的とした研修の実施
- ◎ 大学生等を活用した学習支援事業の推進
- ◎ 「幼小中高一貫教育研究会」作成の手引を活用した生活習慣、学習習慣の確立

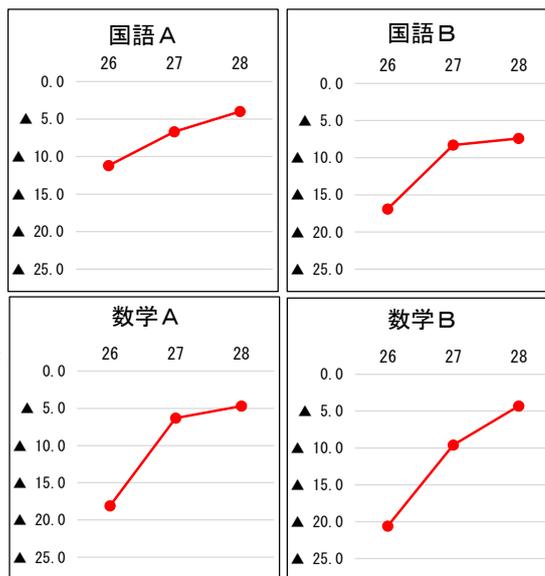
■ 羅臼町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数:2、生徒数:57名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

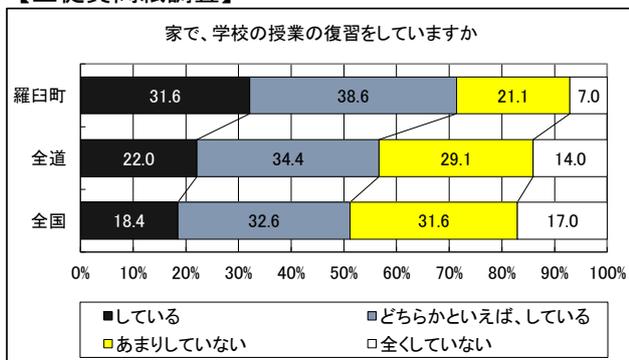


【平均正答率の全国との差の推移】

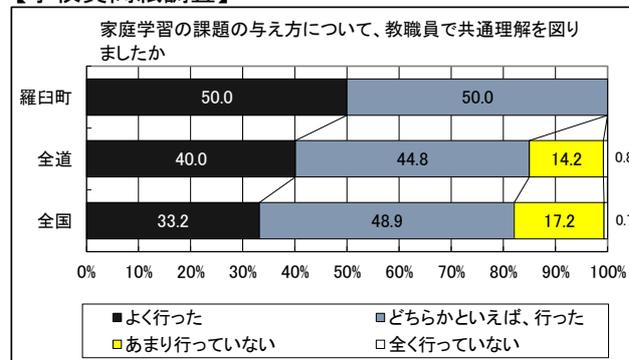


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、数学では、すべての領域で、全国を下回っているが、平均正答率の推移は、平成27年度と比べると、すべての教科で、全国との差が縮まっている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った取組を継続したことにより、復習を含め、家庭学習の習慣が定着した生徒が多くなるとともに、国語、数学の平均正答率の全国との差が縮まったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした幼小中高一貫教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民の協力を得た「土曜授業」の推進
- ◎ 北海道立教育研究所等と連携した教職員の資質・能力の向上を目的とした研修の実施
- ◎ 大学生等を活用した学習支援事業の推進
- ◎ 「幼小中高一貫教育研究会」作成の手引を活用した生活習慣、学習習慣の確立

